

- 問1 各都道府県の産業構造を分析した際、第3次産業の就業者割合が上位となる地域に共通する特徴として、誤っているものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---|------------------------------------|
| 1. 豊かな自然環境を活用し、就業者の大半が稲作や果樹栽培に従事している | 2. 世界的に有名な観光地を有しており、宿泊業や飲食業の雇用が多い | 3. 政令指定都市などの大きな都市を抱え、行政サービスや情報サービスが集中している | 4. 人口が密集しており、卸売業や小売業といった商業活動が活発である |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---|------------------------------------|
- 問2 レタスの出荷量に関する資料を確認すると、長野県が5月から10月にかけて出荷を行うのに対し、沖縄県は1月から4月および11・12月に出荷をずらしていることが分かります。このように、各地の気温の違いを利用して、産地間で出荷時期を調節することの主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 同じ時期に全国から一斉に出荷を行うことで、一時的に市場の価格を吊り上げるため。 | 2. 冷涼な地域と温暖な地域が協力して、化学肥料の使用量を全国一律に増やすため。 | 3. 他の産地との出荷時期の重なりを避けることで、価格の暴落を防ぎ、安定した収益を得るため。 | 4. 輸送コストを削減するために、消費地から最も遠い産地が一年中すべての出荷を担うようにするため。 |
|--|--|--|---|
- 問3 東京都中央卸売市場における6月から10月にかけてのキャベツの取扱量において、群馬県産が圧倒的なシェアを占める理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大規模なビニールハウスを設置し、季節による気温の変化に左右されず一年中安定した供給を行っているから | 2. 冬の温暖な気候を利用して他の地域よりも早く出荷を終え、市場の空白期間を埋めているから。 | 3. 標高の高い地域の冷涼な気候を活かし、平地での生産が困難な夏季に出荷時期を合わせているから。 | 4. 消費地に近い利便性を活かして、収穫から市場への輸送時間を短縮し鮮度を維持しているから。 |
|--|--|--|--|
- 問4 日本の工業が太平洋沿岸に集中し、いわゆる太平洋ベルトが形成された地理的・経済的な要因として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 日本海側に比べて冬の積雪が少なく、一年を通じて農業との兼業による労働力確保が容易であったため | 2. 内陸部に比べて地価が安く、大規模な工場用地を確保するための森林開発が容易であったため | 3. 急峻な地形を利用した水力発電による安価な電力を、工場の動力として直接利用できたため | 4. 原材料の輸入や製品の輸出に便利な港湾が整い、かつ労働力や市場となる大都市が隣接していたため |
|---|---|--|--|
- 問5 1年間に同じ耕地を利用して、異なる種類の作物を1回ずつ、合わせて2回栽培する農業形態を何といいますか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1. 単作 | 2. 二毛作 | 3. 二期作 | 4. 輪作 |
|-------|--------|--------|-------|
- 問6 1955年から1975年ごろにかけて、日本の総人口が右肩上がりに増加していた時期において、地方から東京や大阪などの大都市圏へ労働力が大量に移動した背景にある経済状況として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. バブル経済の影響により、大都市の地価が高騰して建設ラッシュが起きたこと | 2. 全国的に出生率が急激に低下し、地方で深刻な労働力不足が発生したこと | 3. 第一次世界大戦による景気拡大を受け、重化学工業が地方へ分散したこと | 4. 高度経済成長にともない、大都市の工業地帯で多くの人手が必要となったこと |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問7 2011年の東日本大震災後、日本のエネルギー供給体制は大きな転換点を迎えました。震災前には発電電力量の約27%を占めていた原子力の割合が約4%まで急減した際、その不足分を補うための主力として、最も大きく割合を伸ばした発電形式とその燃料の組み合わせはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|------------------------------------|---|-----------------------------------|
| 1. エネルギー自給率向上のために導入が急がれた太陽光などの再生可能エネルギー発電 | 2. かつてのエネルギー革命において主役となった石油を用いた火力発電 | 3. 二酸化炭素の排出量が化石燃料の中では比較的少ない天然ガスを用いた火力発電 | 4. 発電コストが安く、世界的に埋蔵量が豊富な石炭を用いた火力発電 |
|---|------------------------------------|---|-----------------------------------|
- 問8 日本の人口問題を整理した資料では、都市部での過密化やドーナツ化現象が起こる一方で、地方では産業の衰退や過疎化が課題となっています。こうした背景から各地で行われている、地域の自然環境を活かした地域活性化の事例として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---------------------------------------|
| 1. 伝統行事の少ない地域において、海外から新しい祭りを導入して観光客を呼び込む | 2. 北海道において、季節が逆になることを利用して、南半球からのスキー客を誘致する | 3. 四国地方において、徳島・香川・愛媛・高知の全県と本州を直接結ぶ橋を建設する | 4. 北陸地方において、夏の涼しい気候を活かした伝統工芸品の生産を強化する |
|--|---|--|---------------------------------------|
- 問9 日本の人口動態を諸外国と比較したとき、高齢化率が世界で最も高い水準で上昇し続けている背景や現状を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 15歳から64歳の生産年齢人口が増加し、社会全体の支え手が増え続けていること | 2. インドや韓国などの近隣諸国よりも、高齢化が始まる時期が大幅に遅かったこと | 3. 医療の進歩や生活環境の改善によって平均寿命が延び、高齢者の数が増加したこと | 4. 年少人口が急激に増加したことで、全人口に占める高齢者の割合が相対的に押し上げられたこと |
|---|---|--|--|
- 問10 日本の食料事情に関して、国内で消費される食料全体のうち、国内生産によってどの程度まかなわれているかを示す指標を何といいますか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 食料自給率 | 2. 自給自足率 | 3. 地産地消率 | 4. 食料依存率 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問11 都道府県別の統計において、成田国際空港を擁することで国際旅客定期便数が1,300便を超え、全国でも突出して多いという特色を持つ都道府県はどこですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 神奈川県 | 2. 東京都 | 3. 大阪府 | 4. 千葉県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問12 長野県の野辺山原のような標高の高い地域では、夏の気温が平地に比べて低いという気候条件を活かして、他の地域での生産が難しい夏から秋にかけてレタスなどの高原野菜を出荷しています。このように、自然環境を利用して出荷時期を遅らせる栽培方法を何といいますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 近郊農業 | 2. 促成栽培 | 3. 二毛作 | 4. 抑制栽培 |
|---------|---------|--------|---------|
- 問13 日本の主要な貿易拠点である東京港、名古屋港、成田国際空港、関西国際空港などの統計において、他の多くの拠点とは異なり、輸出額よりも輸入額の方が大きいという特徴を持つ拠点はどこですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-----------|---------|-----------|
| 1. 神戸港 | 2. 東京国際空港 | 3. 名古屋港 | 4. 成田国際空港 |
|--------|-----------|---------|-----------|